

2025 年度「海外教育実践体験実習（中国・遼寧省）」研修報告

文責：教育学部 清田朗裕

令和 7 年 11 月 8～12 日、2025 年度集中講義「海外教育実践体験実習」の研修として、教育学部の清田朗裕講師が学生・院生 10 名と共に中国遼寧省大連市及び瀋陽市を訪問しました。例年であれば、主たる研修は遼寧師範大学との学術交流会（シンポジウム）ですが、2025 年度は、愛媛県と遼寧省の友好協力関係協定に基づく青少年交流事業の一環として、新たに瀋陽薬科大学との学生交流や瀋陽市内の実地踏査も実施することとなり、新たな交流と学びの機会を得て、大変充実した研修となりました。

11 月 8 日、松山市を出発し、スーパージェットで広島港に移動し、新幹線で博多へ。その後、地下鉄で福岡国際空港に到着しました。14 時過ぎの飛行機で出国し、2 時間程で大連周水子国際空港に到着しました。その後、遼寧省人民政府職員のガイドにより、早めの夕食の後、高速鉄道で瀋陽市内に移動しました。初めて中国の地を踏む学生が多く、普段の報道では分からない現実の中国に圧倒されていました。



瀋陽北駅前広場

9 日は終日実地踏査を行いました。まずは 9.18 歴史博物館で中国側から見た近代史を学びました。第二次世界大戦及び太平洋戦争を多角的に把握し、自らの目で事実と真実を見極める視野を獲得することができました。その後、北陵公園では、愛新覺羅皇太極（ホンタイジ）とその妻である皇后博爾濟吉特孝恵章の陵墓等を見学しました。建物には漢字だけでなく満州文字が並記されていることを確認し、当時の言語環境についても思いを馳せました。北陵公園の外の広場では、ダンスパーティーが開催されていました。曲に合わせて踊る活動的な現地の人々の姿を楽しむ学生の姿がありました。昼食後は、北京故宮と共にユネスコの世界文化遺産に認定されている瀋陽故宮（瀋陽故宮博物院）で、愛新覺羅努爾哈赤（ヌルハチ）及び愛新覺羅皇太極の皇居を見学しました。大政殿の柱に絡みついている金龍には指が 5

本あることを実見し、これが皇帝にしか許されないものであることを学びました。夜は宿泊ホテル近くの屋台街を練り歩き、活気ある夜の街を存分に楽しみました。



北陵公園



瀋陽故宮博物院

10 日は、愛媛県と遼寧省の友好協力関係協定に基づく青少年交流事業として、瀋陽薬科大学で学生交流を開催しました。まず遼寧省・瀋陽薬科大学と愛媛県・愛媛大学について紹介があった後、友好関係のさらなる発展を願いました。その後、学生はお菓子を食べながら和やかに交流していました。教育学と薬学と、専攻分野は異なりますが、共通する話題を通して話が弾んでいました。昼食後、瀋陽薬科大学の薬品 GMP 实训中心を見学し、薬品作りに過程についての知見を得、その後、植物化石制作体験を行いました。ここでは講師の英語による説明に注意深く耳を傾けながら、各自化石制作を楽しんでいました。名残を惜しみつつ高速鉄道で大連市に戻り、遼寧師範大学では、遼寧師範大学教員主催の歓迎会に出席し、歓談しました。



瀋陽薬科大学学生との交流

11 日は、郭宇佳遼寧師範大学講師を中心としたご準備により、遼寧師範大学外国語学院で愛媛大学・遼寧師範大学第 39 回学術交流会（シンポジウム）が開催され、研究発表・ワークショップ・学生交流を行いました。まず、範業紅遼寧師範大学外国語学院副院長が、遼寧師範大学にとって愛媛大学は最初の学術協定校で特別な存在であり、この国際交流は大変重要なものであること、この学術交流が末永く続くことを願う挨拶をいただきました。両校の友好関係が強固なものとして、今後も継続していくことを再確認することができました。

教員・院生の研究発表の後、愛媛大学学生主催のワークショップを開催しました。学生は、愛媛県で取り組まれている様々な SDGs を紹介し、それに基づいて学生交流を行いました。ワークショップ後、劉丹丹遼寧師範大学外国語学院副院長から、SDGs について蒙を啓かれたこと、学生のプレゼンテーションの質の高さに感激したとの講評をいただきました。午後は、世界最大の広場である星海広場や繁華街等を遼寧師範大学学生と散策しながら、SDGs の取り組みがなされていないか探し歩きました。友好関係を築きつつ世界的な課題にも向き合う学生達の姿は、日本及び中国のあるべき将来を期待させるものでした。



愛媛大学・遼寧師範大学第 39 回学術交流会集合写真



質疑応答の様子



愛媛大学学生主催ワークショップでの学生交流

来年は愛媛大学と遼寧師範大学が学術交流協定を締結して40周年となります。1986年4月に愛媛大学教育学部に外国人教師として赴任した曲維先生と当時教育学部に所属されていた加藤国安先生の一組の友情から始まった学術交流の種が着実に実っていることを確認し、そして今後も大きく実っていくことを確信しています。

最後になりましたが、本研修では愛媛県及び遼寧省人民政府に深甚なるご援助を頂戴しました。ここに記し、深謝いたします。